

クリニック経営に役立つミニコラム ①

コロナによりクリニックの経営環境は大きく変わったのではないのでしょうか？

開業医の奥様のための勉強会「**医ッ歩一步の会**」を主宰するよこやま内科小児科クリニック理事の横山様に、「**会員のクリニックの取り組み事例**」、を紹介していただきました。



横山実代様 プロフィール
よこやま内科小児科クリニック理事
ジャパンウーマンソサイエティ代表
<https://jwsociety.jp/keieikouza.html>

移転開業して18年。経営難だった2代目ドクターを支え地域になくてはならないクリニックに。3児の母。開業医の奥様のための勉強会「**医ッ歩一步の会**」を主催、勉強会や情報交換会を多数実施。個別コンサルティングの要望も多い。

厳格なコロナ対策のつもりがクレームに

地方の眼科クリニックのケースです。来院した患者さん、予約で来院した患者さんに検温と問診を実施。2週間以内に県外に出た患者さんをお断りしたところネットに悪い口コミを載せられた、というケースがありました。

クリニックとしては厳格なコロナ対策をしていることをアピールするつもりが、患者さんへの周知が不十分だったことが原因です。

その後、予約の患者さんには電話、手紙で趣旨を説明し理解を得たそうです。

スタッフのケアや勉強会を実施

「医療従事者に感謝を」と言われていますが、現実には言葉とは裏腹に厳しい部分もあります。医療機関に勤めているというだけで周囲から白い目で見られたり、子供の保育や通園などでも制約を受けたりすることもあります。

そのようなスタッフのメンタルケアもクリニックの役割と、従来よりも多くの時間をスタッフの話を聞く時間に当てているという院長婦人も多くいました。

また、スタッフ自身も患者さんがコロナかどうかをととても恐れているので、コロナについての正しい知識を習得するための勉強会をしているクリニックもありました。

スタッフ向けの勉強会やメンタルケアは当院でも取り組んでいますが、スタッフに安心して働いてもらうために、また正しい知識を地域に広めるためにも大切だと感じています。

自動精算機を導入

患者さんとスタッフの接点をなるべく少なくすることが、ことコロナに関しては、患者さん、スタッフの双方にとって安心なクリニックと言えます。

クリニックではまだ珍しいと思いますが、自動精算機を購入されたクリニックもありました。コロナによる人の接触を避けるための機械ですが、コロナの心配がなくなった後も効率的な経営のために導入を検討するクリニックが多くなるのではないのでしょうか？

検温のためのスタッフ

自動精算機を購入するクリニックがある一方、クリニックの入り口に検温のためにスタッフを配置しているクリニックもありました。

大規模な病院ほど人の出入りが多くないクリニックの場合、そこに人を割くのは少しもったいないかもしれませんね。医療機関向け助成金を利用して早速サーモグラフィーの購入を検討するそうです。

「**医ッ歩一步の会**」ではより良いクリニックを作るため、様々なテーマで勉強会をしています。ご興味がある方はお気軽にお問合せください。